

T&T オルファクトメーターが及ぼす NO（一酸化窒素）測定への影響について

2020 年 11 月吉日
第一薬品産業株式会社

当社製品である嗅覚測定用基準臭「T&T オルファクトメーター」を使用後、NO 測定を行うと正確な NO 測定ができないのではないかとのお問い合わせがありました。同様の問い合わせは当社では今までありませんが、T&T オルファクトメーターが NO 測定に影響を与える可能性が否定できないことから、お取扱いについて次のようにご注意いただきますようお願いいたします。

【NO 測定器に及ぼす影響について】 ※詳細は各測定器メーカーにお問い合わせ下さい。

NO 測定器メーカーに問い合わせたところ、次のような回答がありました。

- ① NO 測定器はアルコールによる影響を受けることがあり、今までよりも低い測定値となる場合がある。また、NO 測定は息を吸って吐き出すので、外気に含まれている物質（食物、アルコール等）を吸うことになり、その物質の影響を受けることもある。
- ② 測定機器のフィルターにアルコール等が影響していると正確な測定ができない場合がある。
- ③ 一部の製品の取扱説明書には、ハウレンソウ等の飲食では硝酸塩の影響があるので、NO 測定の 2～3 時間前には飲食しない、また肺機能検査前には測定しないこと等が記載されているとのこと。

【今後の取扱いについて：注意喚起】

NO 検査にあたり T&T オルファクトメーターに含有されるアルコールによる影響が否定できないことから、次のように注意するようお願いいたします。

- NO 測定前には、T&T オルファクトメーターによる嗅覚検査をしない。
- 嗅覚検査後に NO 測定を行う場合は、3 時間は間を空ける。